

環境負荷低減の 舗装技術を紹介

NIPPO・グリーン インフラ産業展に出展

NIPPOは、「グリーンインフラ産業展2026」に出展し、環境配慮型の舗装技術を紹介した。写真。夏場の路面温度を約10度低減する遮熱性舗装「パーフェクトクール」や、低炭素アスファルト混合物「ECOフォームド」など、ヒートアイランド現象の緩和や環境負荷低減に役立つ技術を展示した。

パーフェクトクールは、国際道路連盟から世界道路功績



賞、世界道路協会から最優秀革新賞を受賞するなど、国内外で評価を得ている。ECOフォームドは、アスファルト内に少量の水などを噴霧し微細な泡を発生させることで、製造・施工時の温度を最大30

度程度下げながら、品質や施工性を確保する技術となる。

同社のブースを訪れた来場者は「路面温度が下がること、わだち掘れの発生抑制につながり、道路の耐久性向上にも寄与する点が印象的だった」とコメントするなど、環境性能と舗装性能の双方に効果がある点に着目していた。「アスファルト舗装でも環境負荷低減に向けた取り組みが進んでいることを初めて知り、興味深かった。この技術を広げてほしい」との声もあり、展示した技術に関する相談や導入検討についての問い合わせも寄せられた。